

- 4月～3月 里親学生支援室において本取組の実務を行う。
- 4月～5月 新入生に対して、参加登録の募集を行う。
- 5月 参加登録希望学生の属性や希望事項等の調査を行う。
- 6月 広報誌（第4号）を発行する。
- 6月 学生と「里親」をマッチングさせる。
- 6月 学生を対象に、コミュニケーションに関する研修会（第1回）を開催する。
- 7月 地域周産期医療学講座と協同して教職員向けのFD研修会を開催する。
- 8月 県内出身自治医大同窓会主催のワークショップに参加する。
- 8月～9月 診療見学や体験学習を希望する学生（特に3年生）に対する支援を行う。
- 8(9)月 学生と里親学生支援室員とで、夏期宿泊研修を実施する。
- 9月 本取組についてのフォーラムを開催する。
- 9月～10月 学生に「プチ里親」等地域住民の方々との季節的な交流をコーディネートする。
- 10月 地域住民の方々を対象とする市民公開講座を開催する。
- 10月 学生を対象に、コミュニケーションに関する研修会（第2回）を開催する。
- 10月 若鮎祭（学園祭）開催時に「里親学生支援室ブース」を開設し、取組事業のPRを行う。  
里親、プチ里親と学生との交流の機会ともする。
- 11月 里親学生支援室員と学生との懇談会を行う。
- 11月 広報誌（第5号）を発行する。
- 12月 学生に対し、地域周産期医療学講座と協力して特別講義を実施する。
- 1(2)月 「里親」「プチ里親」向けのFD研修会・意見交換会を開催する。
- 3月 学生と里親学生支援室員とで、宿泊研修を実施する。
- 3月 本事業の過去4年間の整理・検討・総括を行う。

平成22年4月19日作成